

# 「伝染性膿痂しん（とびひ）」 が、発生しています。

次のような症状が見られたら、早めに受診を！

湿しんや虫さされあとをかきこわした部分に  
細菌が入り感染をおこす

- ・水ほうができる
- ・かゆみが強く、かきこわした手で他の部位や周囲に触れると、さらにそこから広がっていく



もし、伝染性膿痂しん（とびひ）と診断されたら...

登所(園)は症状によります。

## 【登所(園)のめやす】

皮しんが乾燥しているか、ジクジクしているところをガーゼ等でおおえる程度のもの



厚生労働省：保育所における感染症対策ガイドライン（2018年改訂版）参照

登所(園)する時は、とびひの部分ガーゼ等でおおってください。ガーゼでおおえない、症状が広がっている等の場合は、「集団生活が可能かどうか」を、かかりつけ医にご相談ください。

症状により意見書等をいただく場合があります。

【潜伏期間】 2～10日

【感染しやすい期間】 効果的治療開始後 24時間まで

ご家庭で気をつけること

- ・手をこまめに洗いましょう。
- ・塗り薬や飲み薬(抗菌薬)で治します。
- ・水ほうをかきこわすと感染が広がるので、爪を短くしましょう。
- ・皮膚を清潔にしましょう。
- ・とびひが広がる時、治りにくい時は再度受診しましょう。

